

鳥海ダムだより

国土交通省 東北地方整備局 鳥海ダム工事事務所

第38号

2017.8.18 発行

由利本荘市担当職員と 「胆沢ダム&成瀬ダム」に行ってきました!! ～ 先例ダムの展望施設及び工事現場状況の視察 ～

平成29年8月8日(火)に由利本荘市担当職員と鳥海ダム工事事務所の職員で、「胆沢ダム&成瀬ダム」に視察に行ってきました。

今回実施した「胆沢ダム(岩手県奥州市)」の視察目的は、鳥海ダムにおける展望施設の計画検討のため、近年完成した先例ダムである胆沢ダムを訪問し、展望施設の見学をしたものです。

その後「成瀬ダム(東成瀬村)」に移動し、工事中の(台形CSG)ダム建設現場のイメージを掴むため、展望施設の状態も含め、仮排水路や受注業者の現場事務所広場(各業者の現場事務所が集まった場所)などを見学させて頂きました。

今回の視察により、より具体的な鳥海ダム展望施設の計画検討や鳥海ダムの建設工事が始まった時の現地状況イメージを確認することができました。



▲胆沢ダムの周辺整備についての説明状況



▲胆沢ダム展望施設の視察状況(あつ、雨が・・・)



▲成瀬ダムの事業概要の説明状況
(展望施設の東屋にて)



▲成瀬ダム転圧試験後の状況を視察
(表面のコンクリートは土色ですが、固いです!)

鳥海ダムの現場で働く業者さんの紹介!!

～ 地質調査業務 (その1) (株)ダイヤコンサルタント 東北支社 ～

株式会社ダイヤコンサルタント東北支社 伊藤靖雄さん

現在、鳥海ダム建設計画地点で地質調査を実施しています。
主な調査はボーリングで、地下深部から地質試料(コア)を直接採取するとともに、ボーリング孔を利用して様々な試験を実施して、ダムを作るために必要な地下情報を収集しています。
今回は、現地での作業の様子を紹介します。



朝のミーティング状況。毎朝、当日の作業内容と注意点を全員で確認します。



山の中はクマ・ハチ・マムシと遭遇する危険あり! 対策アイテムは必須です!



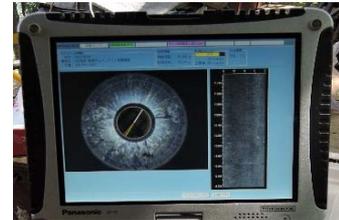
機械ボーリングを実施する調査地点は、道の無いところばかり!
運搬車やモ/レールで資材を運び、現地状況に合わせて足場を組みます。



1回あたりの掘進長は2～3m。その都度地質試料(コア)を取り出して、徐々に深く掘削していきます(最終的には100mを超える深さ!).



カメラを孔内に入れる



撮影した孔内画像

ボーリング掘削によってできた孔(あな)で各種試験を行います。
右側の画像は360°撮影できるカメラで、孔内をつぶさに観察しています。



仕事の後に、地域のイベントにも参加。
地域の皆さんがとても温かく、楽しいひとときを過ごすことができました!
ありがとうございます!

編集後記

みなさん、お盆はいかがお過ごしだったでしょうか?
夏休みを利用して帰省した「子や孫」といっしょに過ごしたり、ご先祖さまへのお墓参りや花火大会など、いろいろな楽しいことがあったかと思われます。
今年のお盆は、比較的天候にも恵まれ、洪水の発生などありませんでした。
これからも天気の良い日が続けば良いですね!

安全・安心の子吉川に抱かれて、より豊かに暮らせる、わたしたちの郷土のために。

編集・発行 国土交通省東北地方整備局鳥海ダム工事事務所

〒015-0074 秋田県由利本荘市桜小路32-1

TEL. 0184-23-5120 FAX. 0184-23-5451

ホームページアドレス <http://www.thr.mlit.go.jp/chokai/>
e-mailアドレス thr-chokai01@mlit.go.jp